

| | | | | |
|------------|-----------------------|----------------|---------|------|
| 茨城工業高等専門学校 | 開講年度 | 令和04年度(2022年度) | 授業科目 | 加工工学 |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 0023 | 科目区分 | 専門 / 必修 | |
| 授業形態 | 講義 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 2 | |
| 開設学科 | 国際創造工学科 機械・制御系(機械コース) | 対象学年 | 2 | |
| 開設期 | 通年 | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 平井三友ほか著「機械工作法」(コロナ社) | | | |
| 担当教員 | 長谷川 勇治 | | | |

到達目標

各種加工法の特徴を理解し、工作物に対して適切な加工方法を選択できる素養を得る。また技術者として重要な技術者倫理（知的財産、法令順守）、国際貢献・地域貢献について認識する。

- 砂型铸造の铸型の要件および铸型の作り方・種類を得られる铸物の特徴を理解し、その知識を問題解決に適用できる。
- 溶接法を分類でき、ガス溶接および代表的なアーク溶接の接合方法を溶接部の特徴を理解し、その知識を問題解決に適用できる。
- 各塑性加工法の特徴を主要方式の原理を理解し、その知識を問題解決に適用できる。
- 切削加工の原理や切り屑の形態などを理解し、その知識を問題解決に適用できる。
- 研削加工の原理および砥石の三要素・五因子、砥石の種類と用途を理解し、その知識を問題解決に適用できる。
- 技術者の役割と責任、使命と重要性、また国際社会・地域社会に貢献するために科学技術が果たせる役割を理解する。
- 知的財産に関する基本的な事項、法令順守の重要性を理解する。

ルーブリック

| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 |
|--------------------------------|--|---|---|
| 铸造 | 砂型铸造の铸型の要件および铸型の作り方・種類を得られる铸物の特徴を理解し、その知識を問題解決に適用できる。 | 砂型铸造の铸型の要件および铸型の作り方・種類を得られる铸物の特徴を理解し、その知識を使用できる。 | 砂型铸造の铸型の要件および铸型の作り方・種類を得られる铸物の特徴を理解できない。 |
| 溶接 | 溶接法を分類でき、ガス溶接および代表的なアーク溶接の接合方法を溶接部の特徴を理解し、その知識を問題解決に適用できる。 | 溶接法を分類でき、ガス溶接および代表的なアーク溶接の接合方法と特徴を理解し、その知識を使用できる。 | 溶接法を分類でき、ガス溶接および代表的なアーク溶接の接合方法と特徴を理解できない。 |
| 塑性加工 | 各塑性加工法の特徴を主要方式の原理を理解し、その知識を問題解決に適用できる。 | 各塑性加工法の特徴を理解し、その知識を使用できる。 | 各塑性加工法の特徴を理解できない。 |
| 切削加工 | 切削加工の原理や切り屑の形態などを理解し、その知識を問題解決に適用できる。 | 切削加工の原理や切り屑の形態を理解し、その知識を使用できる。 | 切削加工の原理や切り屑の形態を理解できない。 |
| 研削加工 | 研削加工の原理および砥石の三要素・五因子、砥石の種類と用途を理解し、その知識を問題解決に適用できる。 | 研削加工の原理、砥石の三要素・五因子を理解し、その知識を使用できる。 | 研削加工の原理、砥石の三要素・五因子を理解できない。 |
| 精密加工 | 精密加工・特殊加工を理解し、その知識を問題解決に適用できる。 | 精密加工・特殊加工を理解し、その知識を使用できる。 | 精密加工・特殊加工を理解できない。 |
| 樹脂加工 | 樹脂加工を理解し、その知識を問題解決に適用できる。 | 樹脂加工を理解し、その知識を使用できる。 | 樹脂加工を理解できない。 |
| 技術者倫理、技術史と持続可能性、法令遵守、国際貢献・地域貢献 | 技術者倫理と法令遵守、持続可能性などについて説明できる。 | 技術者倫理と法令遵守、持続可能性などについて理解できる。 | 技術者倫理と法令遵守、持続可能性などについて理解できない。 |
| 情報倫理、知的財産 | 情報倫理、知的財産などについて説明できる。 | 情報倫理、知的財産などについて理解できる。 | 情報倫理、知的財産などについて理解できない。 |

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (A)

教育方法等

| | |
|-----------|---|
| 概要 | 機械工学の原点は「ものづくり」であると考えることができる。機械技術者は、製作図を元に各種の工作機械を使用し、「ものづくり」、すなわち素材から様々な製品を生産する。この素材から製品を製作する生産過程で要求される必要な知識、すなわち、基本的な各種の加工方法を学ぶ。また、技術者倫理と法令遵守、知的財産に基づく技術者の役割やふさわしい行動を学び、科学技術が国際貢献・地域貢献に果たせる役割についても学ぶ。 |
| 授業の進め方・方法 | 授業はスライドを用いて進める。教科書の解説・補足を主とし、一部教科書に掲載のないテーマについても取り扱う。定期試験のほかに、小テストによる確認テストを行い、評価の対象とする。 |
| 注意点 | プレゼン資料は自宅からインターネットで閲覧することが可能なので、次回講義回予定の部分を予習しておくこと。また、講義中にメモしたサブノートを見直し、自宅で講義ノートを作成してください。また、2年次の「電子制御実験」で学んだ加工法を復習してください。 |

授業の属性・履修上の区分

| | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---|

授業計画

| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 |
|------------|----|-------------|--------------------------------------|
| 前期 1stQ | 1週 | 機械材料の機械的性質1 | 機械材料の引張強さ、硬さを理解する。 |
| | 2週 | 機械材料の機械的性質2 | 機械材料の韌性、疲労、クリープ強さを理解する。 |
| | 3週 | 機械材料の種類 | 各種の機械材料の種類と用途を理解する。 |
| | 4週 | 铸造1 | 铸造の作り方、铸造の要件、構造および種類を理解する。 |
| | 5週 | 铸造2 | 精密铸造法、ダイカスト法および他の铸造法における铸造の作り方を理解する。 |
| | 6週 | 铸造3 | 铸造の欠陥や铸造用材料を理解する。 |
| | 7週 | 中間試験 | |
| | 8週 | 塑性加工1 | 锻造・転造を特徴を理解する。 |

| | | | | |
|------|------|--------------------------------|--|--|
| 2ndQ | 9週 | 塑性加工2 | 圧延およびその他の塑性加工を理解する。 | |
| | 10週 | 塑性加工3 | プレス加工およびその他の塑性加工を理解する。 | |
| | 11週 | 溶接1 | 各種の溶接法を理解し分類できる。 | |
| | 12週 | 溶接2 | アーク溶接の接合方法とその特徴、アーク溶接の種類、アーク溶接棒を理解する。 | |
| | 13週 | 溶接3 | ガス溶接の接合方法とその特徴、ガスとガス溶接装置、ガス溶接棒とフラックスを理解する。 | |
| | 14週 | 技術者倫理、技術史と持続可能性、法令遵守、国際貢献・地域貢献 | 科学技術が社会に与えてきた影響をもとに、技術者の行動に関する基本的な責任事項、技術者倫理観に基づいて、持続可能性の社会を目指した、取るべきふさわしい行動と法令順守の重要性、国際貢献・地域貢献の必要性について理解する。 | |
| | 15週 | 期末試験 | | |
| | 16週 | 総復習 | | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | 切削加工1 | 切削加工の原理、切削工具、工作機械の運動を理解する。 |
| | | 2週 | 切削加工2 | 切削工具材料の条件と種類および切削速度、送り量、切込みなどの切削条件選定を理解する。 |
| | | 3週 | 切削加工3 | バイトの種類と各部の名称、旋盤の種類と構造を理解する。ドリルの種類と各部の名称、ボール盤の種類と構造を理解する。 |
| | | 4週 | 切削加工4 | フライスの種類と各部の名称、フライス盤の種類と構造を理解する。 |
| | | 5週 | 研削加工1 | 砥石の三要素、構成、選定、修正のしかたを理解する。 |
| | | 6週 | 研削加工2 | 研削加工の原理、円筒研削と平面研削の研削方式を理解する。 |
| | | 7週 | 中間試験 | |
| | | 8週 | 精密加工および特殊加工1 | 機械的エネルギーによる特殊加工などを理解する。 |
| | 4thQ | 9週 | 精密加工および特殊加工2 | 物理化学的エネルギーによる特殊加工法などを理解する。 |
| | | 10週 | プラスチック加工1 | プラスチック材料の種類について理解する。 |
| | | 11週 | プラスチック加工2 | 加工の各加工法の特徴を理解する。 |
| | | 12週 | プラスチック加工3 | その他の加工法、3Dプリントによる加工方法の特徴を理解する。 |
| | | 13週 | 技術者倫理、技術史と持続可能性、法令遵守、国際貢献・地域貢献 | 科学技術が社会に与えてきた影響をもとに、技術者の行動に関する基本的な責任事項、技術者倫理観に基づいて、持続可能性の社会を目指した、取るべきふさわしい行動と法令順守の重要性、国際貢献・地域貢献の必要性について理解する。 |
| | | 14週 | 情報倫理、知的財産 | 情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの知的財産について理解する。 |
| | | 15週 | 期末試験 | |
| | | 16週 | 総復習 | |

評価割合

| | 定期試験 | 小テスト | レポート | 合計 |
|---------|------|------|------|-----|
| 総合評価割合 | 70 | 30 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 0 | 10 | 0 | 10 |
| 専門的能力 | 70 | 20 | 0 | 90 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 |